

◎ **クリエイト  
兵庫**

**地域医療に貢献する「かかりつけ薬局」をめざして  
ふれあい薬局長田 リニューアルオープン**



2017年5月1日、神戸協同病院前に「ふれあい薬局長田」がリニューアルオープンしました。

1992年開局の長田店は、病院から少し離れており、2006年に病院前に開局した協同店は、待合室が狭くてお待たせすることも多く、この二つの薬局を統合することが長年の悲願でした。この度、組合員様、ボランティアの皆様のご協

力により、その願いが叶って、病院のすぐそばに、適度な広さのある店舗をオープンさせることができました。

新しい薬局は、車イスでの来局も可能で、薬をお渡しする主な窓口は四つあり、その窓

口に、プライバシー保護のため個別の仕切りを設けて、相談して頂きやすくなりました。また、動線にも配慮して、薬局内の移動距離が短くなりました。お身体の不自由な方からは、「病院から近くなって助かる」とのお声を頂戴しています。

現在、在宅医療にも携わっており、薬局に通えなくなった時にも

対応できるように取り組んでいます。継続して患者様をサポートしてゆける、地域になくてはならない「かかりつけ薬局」を目指して、スタッフ一同、安全で信頼のおける医療を提供してゆきたいと考えております。

(株式会社クリエイト兵庫  
浅田圭一)



**「きずなづくり推進事業補助金」に応募し、  
行政との連携実現へ**

**宝塚医療生活  
協同組合**



2017年11月5日(日)に、第15回目となる健康まつりの開催を予定しています。宝塚市が公募した「きずなづくり推進事業補助金」に応募し、「末広中央公園」の開催を申請しました。末広中央公園は広さ4ヘクタールとこれまでの会場よりもはるかに広い敷地です。承認されれば、規模の拡大が見込まれますし、防災公園として



の機能を持っているため、市との懇談の中では、防災を啓発する中身も提案されています。

市との協同をすすめると同時に、まちづくり協議会や消費生活協同組合、農業協同組合との連携も模索しており、行政・地域との

連携、協同組合間連携を図っていきます。健康まつりに取り組むことで、市民や行政・他団体とのつながり、おたがいさまがあふれるまちづくりの実践をすすめていきます。(本部事務局 田中 剛)

※写真は昨年のもので

## 何を守っているのか？ これが権力か

### 全日本民医連第40次辺野古支援連帯行動 「沖縄民医連2017平和を守るたたかい」に連帯する全国支援行動

兵庫からはのべ7名（尼崎2、共和会3、姫路1、県連1）が参加しました。  
高江のヘリパッド建設強行から、間髪入れずに行われた辺野古基地建設強行と機  
動隊による弾圧を目の当たりにした参加者の皆さんの感想を紹介します。



キャンプシュワブ前での座り込みでは機動隊による「ごぼう抜き」、辺野古周辺の海上では海上保安庁による監視撮影と、ニュース等では分からない恐怖を感じました。工事が着工された今、少しでも多くの市民が行動し、反対の声をあげるべきだと思いました。（共立病院 久保 茂）

実際にゲート前に座り込みを行い。時間になると数十人の機動隊がきて移動するようにいわれ、それでも座り込みをしていると住人を1人1人連れていく。これがいわゆるごぼうぬきと言われるものだそうです。

私は「抱っこ」まではされませんでした。脇を抱えるように機動隊に連れて行かれました。その時の気持ちは何とも言えず、「悔しい？悲しい？なんで解ってもらえないのか？」という気持ちで一杯になりました。何も悪いことをしていないのに。みんな平和を願っているだけなのに。このきれいな海に基地はいらない。その想いだけなのに。（→2面につづく）  
（尼崎医療生協病院 北島祥子）

隣にCAMP SCHWABがあり工事施工しているのが日本って?? 何を守っているのか警察機動隊・海上保安庁・アルソック。二千万円/日が警備だけに使用され、また異様な光景を目の当たりにしてショックでした。

（東神戸病院 松浦千絵）

